

【 編集後記 】

今年は例年になく猛暑で、我が家の太陽熱温水器は連日、最大能力で熱湯を沸かしますが半分も使いません。通称ソーラーは「環境科学」の講義の中で、自然エネルギーを利用する家庭用システムの中で唯一、投資の回収ができるものと教えはしましたが、教科書通りさすがの能力です。「熱力学」はソーラーシステム等のエネルギーや産業と密接に関わっていますが、理工系で学ぶ学生にとってさえ理解しにくい科目の1つようです。ここで偉そうに編集後記を書いている編集子も卒業研究室配属の“くじ”運が良ければ(?)「化学熱力学」と深くつきあうことがなかったかも知れません。ということは、熱力学が理解しやすく興味深い学問であれば、(私のような立場の教員がもっと教育に向き合えば?)学会の会員増にもつながると期待されます。同じように教育に携わる方々は学生さんから「熱力学」に対してどのような感想をお聞きでしょうか。Clausiusの不等式をどのように理解させるか、この夏つくばで開催されたICCT-2010で物理化学の教科書の著者として著名なP. W. Atkins教授の講演を聴いて教授法の大切さを痛感した次第です。

教育に力を入れるのは大切ですが効果がすぐには現れませんから、当面は本誌を通じて会員の皆さんに有用な情報をお届けするため、魅力的な記事を集める必要があります。本号では大変魅力的な解説記事4編に加え、「熱測定応用研究のページ」の記事を4編掲載致しました。熱測定を応用する事例紹介の記事は企業会員の方に有用な情報ではないでしょうか。好評の医薬品関係の解説記事も継続して掲載していくことに致します。一方、著者探しが大変となっていた「巻頭言」は幹事会で話し合った結果、次年度から1号のみに掲載することになりましたのでご了承下さい。皆様からの「論文」、「ノート」、「熱測定応用研究のページ」への活発なご投稿をお待ちしております。(小川 英生)

【複製される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複製に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複製したい方は、同協会より許諾を受けて複製して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複製はその必要はありません。(社外頒布用の複製は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, e-mail: info@jaacc.jp
 なお、著作物の転載・翻訳のような、複製以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複製したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A.
 TEL. +1-978-750-8400, FAX. +1-978-646-8600

2010年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 猿山 靖夫

(編集委員) 内山 進, 小川 英生, 川上 亘作, 中別府 修, 宮崎 裕司, 橋本 拓也

(拡大編集委員) 神崎 亮, 清野 肇, 古賀 信吉, 橋 信, 松本 里香, 三木 久美子

熱測定Vol.37, No.4, 2010

平成22年8月25日 印刷

昭和52年5月27日 第4種郵便物(学術刊行物)認可

平成22年8月31日 発行

発行人 日本熱測定学会 吉田 博久

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 e-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 e-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscta/index.html>

郵便振替口座 00190-5-110303